

# 平成 29 年度 第 1 回 廃棄物減量推進部会会議

## 発言要旨

1 【日 時】 平成 29 年 6 月 9 日 (金) 13:30~15:30

2 【場 所】 西宮市役所 本庁 5 階 541 会議室

3 【出席者】 全 9 名

項目	所属団体	役職名	委員名
環境計画推進 パートナーシップ 会議委員	大阪産業大学	教授	花田 眞理子
	NPO 法人こども環境活動支援協会	理事	小川 雅由
	環境衛生協議会	会長	樋口 賢一
	公募市民		柳生 裕之
市民代表	甲東エココミュニティ会議	会長	山崎 由美
事業者代表	にしのみや環境サポート協同組合 (株式会社ヤマサ環境エンジニアリング)	常務取締役	川越 勉
	西宮商工会議所 (株式会社山一商会)	代表取締役社長	櫻田 茂
	生活協同組合 コープこうべ	理事	上田 久美子
市役所関係	学校教育課	指導主事	宇野 繁範

【事務局】 全 11 名

局	部	課	役職名	職員名	
環境局	—	—	局長	須山 誠	
	環境事業部	—	部長	橋本 充信	
	環境施設部	—	部長	野田 敏彦	
	環境事業部	美化企画課	課長	森川 信也	
			係長	加羅 一己	
			係長	吉岡 崇	
	環境施設部	美化第 3 課	課長	池田 信彦	
		施設管理課	課長	山村 康浩	
			施設整備課	課長	永田 康平
				係長	高橋 能正
				技師	宮部 格

4 【傍聴者】 2 名

5 【会議の概要】

1. 西宮市環境局長あいさつ

須山環境局長が開催のあいさつを行った。(須山環境局長)

## 2. 出席者紹介

出席者の確認を行った。

## 3. 役員選出について

西宮市附属機関条例第 25 条第 3 項の規定に従い、部会長として、花田真理子委員、副部会長として、小川雅由委員が選出された。

## 4. 報告事項

### 1) 一般廃棄物処理基本計画の改定について

- ・事務局より、資料 2, P. 1 ~P. 3 に沿って説明が行われた。(事務局)
- ・一般廃棄物の中にはごみと生活排水があり、ごみの中には、家庭ごみと事業系ごみの両方が一般廃棄物に入っている。また、上位計画である「西宮市総合計画」と「西宮市新環境計画」の計画期間と合わせて計画を改定しようという説明である。また、温室効果ガス排出量の削減などはごみの減量と関係しているなどのつながりが示されている。(委員)

### 2) 一般廃棄物処理の現況について

#### ①ごみ処理の現況について

- ・事務局より、資料 2, P. 4 ~P. 16 に沿って説明が行われた。(事務局)
- ・収集分別区分で、もやすごみに使用済小型家電が入っている。使用済小型家電は 30 数カ所で回収していると説明があり、もやすごみに入っていることは疑問である。(委員)  
→使用済小型家電は、分別を行うまで複合製品の中でも金属類が多いもの少ないもので、もやすごみともやさないごみという振り分けを行っており、名残である。回収ボックスは、投入口の大きさの制限があり投入口の大きさと粗大ごみの基準の間が残っているという現状である。(事務局)  
→使用済小型家電という名前で収集分別区分に載せると、市民の方は誤解を招く可能性がある。収集区分の表現を変える必要がある。(委員)
- ・粗大ごみは無料回収ですか？有料回収ですか？(委員)  
→有料である。(事務局)  
→大きさと重さで有料回収ですか？(委員)  
→大きさと重さである。(事務局)
- ・もやさないごみに様々なものが入っており、すべて一緒の回収なのか？明らかな資源ごみが入っており、なぜ回収されないか？(委員)  
→ビン、缶、せともものは、一緒に収集されており、ステーションに置かれたコンテナボックスに袋から出して入れている。その後、西宮市総合処理センターにある破碎選別施設に運ばれ、仕分けを行っている。仕分けは、ガラスは色ごとでスチール缶、アルミ缶と手選別で分別している。(事務局)

→スチール及びアルミの自動選別機がある。(委員)  
→現在アルミ選別機は採用していないが、次の設備では考えたい。(事務局)  
→コンテナを分けたら良いのではないか?(委員)  
→現在の状態だと混合排出であり、色選別は難しい。  
以前から提案しているが、収集の際にガラス等は分別を行う必要がある。(委員)

- ・ごみ袋の色が西宮は黒であり、他市と比べると遅れている。他地区では半透明にして成果も上がっている。(委員)  
→モデル地区でチラシを配布し、①資源を分けましょう。②食べ物を食べ切りましょう。③水切りをしましょう。④マイバックにしましょうの4つのお願いで排出量が大幅削減された。その際、半透明で水切り不足による水の溜りなど気付きがあった。(委員)  
→市民に対して数字の見える化、中身の見える化、継続的に情報を提供することが排出量削減に比較的効果があると思われる。(委員)
- ・資源A、資源Bに関しては、以前はチラシなどの色つきインクを脱色する技術的な問題があり、それで再生パルプに出来ないことがあったが、今は技術が発達して全部脱色出来るようになっている。集団回収では、資源Aや資源Bで分けておらずミックスされている。(委員)  
→市の回収では、資源Aと資源Bに分けることに、矛盾があると感じる。(委員)  
→資源B(雑紙)を分別し減らすことが、必要であり施策を検討する必要がある。(委員)

## ②処理施設の現況及び広域化の検討状況について

- ・事務局より、資料2, P. 17~P. 19に沿って説明が行われた。(事務局)  
→広域化は、一部事務組合等を想定しているか?(委員)  
→現在検討している段階である。(事務局)  
→広域化に関しては、先の話であるため、今回は現時点での計画を行う。(委員)

## ③生活排水処理の現況について

事務局より、資料2, P. 20~P. 21に沿って説明が行われた。(事務局)

## 3) 現時点での本市の課題について

- ・事務局より、資料2, P. 22に沿って説明が行われた。(事務局)  
→市民向けのアンケートの素案は、第2回で提出される。市民向けアンケートにて指定袋が受入可能かの確認と分別を理解しているか把握を行いたい。また、事業者向けアンケートは、ごみ処理に関して理解を得る内容を記載してほしい。(委員)

## 4) その他

- ①計画改定に関する基礎調査事項(各種調査)について  
事務局より、資料3に沿って説明が行われた。

- ②コンサルタントによる業務内容について  
事務局より、資料4に沿って説明が行われた。

## 5. 確認事項

### 1) 今後のスケジュールについて

事務局より、資料5に沿って説明が行われ、第2回廃棄物減量推進部会会議を平成29年8月頃、年内に4回開催予定であることが報告された。